

おおぎみ



広報 No.199

KOHO OGIMI 2011年 10月号



# 大宜味

「健康長寿の  
いきいき輝く  
文化の村」



地域の発展を願い村内各字で海神祭・豊年踊り

日時：8月28日

場所：根路銘公民館（3ページに関連記事）

# 大宜味村産食材の

## 新たな活用を目指して

沖縄県の特産品や市町村を紹介する沖縄タイムスの特集記事「かなさうちな〜むん」の8月31日11面に大宜味村が掲載されました。紙面の一部は協賛広告の形を取っており、協力があったロワジールホテル&スパタワー那覇で、大宜味村フェアや料理講習会が開催されました。両企画とも、村の基幹産業であるシークワサーをはじめ、ソバの葉、豆腐、モズク、茶など大宜味村産の食材が使われ、プロの料理人が腕を振るいました。

### ◆那覇のホテルで大宜味フェアを開催

大宜味村とロワジールホテル&スパタワー那覇は9月5日、同ホテルで共同記者会見を行い、大宜味村の食材を使った料理を提供する「大宜味村フェア」のPRを行いました。

同ホテルで特定地域の食材を使ったフェア開催は、初の試みとのことです。



村の食材をPRする島袋義久村長

会見で島袋義久村長は「基幹作物であるシークワサーをはじめとした魅力的な食材が多くあり、規格外農産物の付加価値を上げて農家の所得向上を目指す」と話し、商工会の平良恵美子副会長は「生産量で勝負するのではなく、クオリティーでナンバー1を目指したい」と抱負を語っていました。

た。会見後の試食会では、報道関係者に約16品の試食品が提供され、大宜味村食材をふんだんに使った料理に舌鼓を打っていました。大宜味村フェアは9月1日から30日まで同ホテルで開催され、和食、中華、スイーツ、パン等をプロの技術を駆使した創作料理をビュッフェ形式で提供していました。

### ◆大宜味村産食材を使った「癒しのメニュー」 ホテルで料理講習会

一流シェフが大宜味村産の食材を活用して腕を振るう料理講習会「かなさキッチン」(主催…沖縄タイムス、共催…大宜味村役場・大宜味村商工会)が9月13日、ロワジールホテル&スパタワー那覇



ビュッフェ形式で料理が提供されました

で開催されました。

「大宜味から長寿の玉手箱。癒しのメニューで心も体もリフレッシュ」をテーマに、同ホテル各分野の料理長が創作料理6品(うち実演4品)に腕を振るいました。前菜、スープ、魚料理、肉料理4品の実演中は、司会のアイモコさんと屋比久保総料理長及び、担当料理長が、トークを交えながら食材や調理法のコツなどについて解説がありました。今回は地産地消が大きなテーマであり、料理には大宜味村産の食材がふんだんに使われました。完成した料理は、村内工芸家の作った器に盛りつけられ、参加者はプロの料理人が作った6品の創作料理を堪能していました。

島袋義久村長は、「村では、農業による地場産業の振興に取り組んでいる。大宜味の澄んだ空気の中で作られた食材を多くの方に活用してもらいたい」とPRしました。

村出身で那覇市在住の喜舎場直子さんは「いつもふるさとを応援している。普段からシークワサーを魚料理や、肉料理に活用しているので、今日は大変勉強になった」と話していました。

会場外のロビーではシークワサーの特産品や村内工芸家の作品などの展示販売がありました。



大小13のモニターに調理の様子が映し出されました



高級万年産シークワサー風味

村内工芸家の作品に盛りつけられた創作料理

# 海神祭・豊年踊りにちむどんどん

8月下旬から9月上旬にかけて、五穀豊穡や区民の健康、地域の発展などを祈願する海神祭や豊年踊りが塩屋区、根路銘・上原区、饒波区、津波区で開催されました。地域の伝統行事を盛り上げようと、子どもから大人まで本番1ヶ月以上前から練習に励み、当日は見事な組踊や伝統的な奉納舞踊などを披露しました。地域の一大イベントとあって、村内各字の区民や郷友会が大勢つめかけ2年に1度行われる伝統行事を楽しみました。

8月27日に行われた饒波区の豊年祭では、同区に伝わる「長者の大主、恩納節、鶴亀、上り口説、下り口説」を含め19演目が披露されました。同区では、伝統文化を地域の子も達に継承する動きもあり、2年前は大人が演じていた「恩納節」と「下り口説」は今回、地域の中学生在が演じました。饒波区の山城初子区長は「地域が元気になることが村の活性化につながる。伝統文化、伝統芸能を子ども達に伝え、若者を育成していきたい」と話し、地域の将来を担う子ども達に期待を込めました。



根路銘区・上原区（8月28日、根路銘公民館）  
根路銘・上原区を代表する踊り「五福の舞」



塩屋区（8月25日、塩屋のアサギマー）  
女性だけで、三線を使わず、太鼓と囃だけで行われる豊年踊り



津波区（9月10日、津波のお宮前）  
津波城の伝説が元になっている大主（大蛇）退治の組踊「大主」



饒波区（8月27日、饒波公民館）  
婦人会が演じ、観衆の笑いを誘った「馬山川」

伝統行事「塩屋湾のウンガミ」  
豊漁や豊作を祈願

塩屋湾内7区の最大の行事であり、国の無形民俗文化財にも指定されている「塩屋湾のウンガミ（海神祭）」が旧盆明けの最初の亥（い）の日にあたる8月24日、同湾と周辺地域で行われました。

午前11時過ぎから、神人（カミンチュ）らが田港と屋古のアサギで祈りをささげ、伝統ある儀式で地域の豊作、豊漁などを祈願しました。

午後から塩屋湾を横切る御願バリー、ならびに兼久浜での豊漁祈願の儀式が行われました。御願バリーは、男性たちが3隻に乗り込み田港方面から塩屋に「神」を乗せて走り、櫂を勢いよく漕ぎました。

岸では腰まで海に漬かった女性たちが手や太鼓を力強く打ち鳴らして出迎え、熱気は最高潮に達しました。また、午後3時から奉納角力も行われました。



岸からハーリーを出迎える女性たち

## 平成22年度決算に基づく健全化判断比率について

平成22年度決算に基づき算定した地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第3条第1項の健全化判断比率について、同項の規定により、次のとおり公表する。（単位：％）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	—	—	9.5	—
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	

備考：健全化判断比率のそれぞれの欄において「—」と表記されている場合は、赤字額がないこと、又は比率が算定されないことを表す。

### 算定方法

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

$$\text{実質公債費比率 (3ヵ年平均)} = \frac{\text{(地方債の元利償還金 + 準元利償還金)} - \text{(特定財源 + 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)}}{\text{標準財政規模} - \text{(元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)}}$$

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - \text{(充当可能基金額 + 特定財源見込額 + 地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額)}}{\text{標準財政規模} - \text{(元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)}}$$

## 平成22年度決算に基づく資金不足比率について

平成22年度決算に基づき算定した地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第22条第2項の資金不足比率について、同条第1項の規定により、次のとおり公表する。（単位：％）

会計区分	資金不足比率	経営健全化基準
大宜味村簡易水道事業特別会計	—	20.0
大宜味村公共下水道事業特別会計	—	

備考：各会計の資金不足比率の欄において、「—」が表記されている場合は、資金不足が発生していないことを表す。

### 算定方法

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$



# 村の農業振興に向けて決意を新たに

村農業委員会委員の当選証書付与式が9月6日、役場第1会議室で行われ、当選した8人に当選証書が付与されました。現職5名、新人3人が当選証書を受け取り、決意を新たにしました。

当選者を代表して玉城等さんは「住みよく明るい農村基盤づくりを目指して取り組んでいきたい」と決意を語りました。

島袋義久村長は「これまでの経験を活かして大宜味村の農業振興のために力を貸してほしい。これからも頑張ってください」と激励しました。



当選証書を手決意を新たにした当選者の方々

## 農業委員会委員選挙当選者名簿

玉城 等	平良 晋	平良 幸也
宮城 保幸	照屋 まり	宮城 威
比嘉 悟	眞喜志 豊	



## 大宜味村立保育所における苦情解決に関する取り組みをしています！

大宜味村では、村立保育所における福祉サービスの提供に対する利用者からの苦情への適切な対応、利用者の権利の保障及び福祉サービスの質の向上を図ることを目的とした「大宜味村児童福祉施設における苦情解決に関する要綱」を制定し、苦情解決へ取り組んでいます。この要綱に基づき、苦情解決の社会性及び公平性を確保し、並びに利用者の立場及び特性に配慮した適正な対応を図るため、苦情対応委員として次の4名の方に委嘱しています。

校 区	氏 名	住 所	電話番号
喜如嘉校区	平良 啓子	喜如嘉388番地	44-3357
大宜味校区	前田 正則	大兼久103番地	44-3248
塩屋校区	島田 哲夫	塩屋655番地	44-2819
津波校区	屋良 朝之	津波620番地(津波公民館)	44-2518

なお、各保育所の主任保育士を苦情受付担当者、所長を苦情解決責任者としています。

- 【お問合せ先】 \*喜如嘉保育所・・・TEL 44-3754  
 \*塩屋保育所・・・TEL 44-2500  
 \*大宜味村役場 住民福祉課・・・TEL 44-3003



**新エネルギービジョンコラム**  
 エネルギー問題と地球温暖化問題

東日本大震災に起因する福島第一原子力発電所事故以降、既存のエネルギー政策そのものの転換を含め、日本全土でエネルギーに関する議論が巻き起こりました。9月14日に行なわれた所信表明演説で野田総理大臣はエネルギー政策に触れ、原発の再稼働に言及しながらも、中長期的には原発への依存度を可能な限り引き下げていく、という方向性を示しました。

日本のエネルギー資源は先進国の中でも20%と低く、石油や石炭、天然ガスなど主要なエネルギーは海外に頼っているのが現状です。野田首相も演説の中で「規制改革や普及促進策を組み合わせ、省エネルギーや再生可能エネルギーの最先端のモデルを世界に発信する」と結んでいます。

そんな中、9月26日の琉球新報の記事によると沖縄県は自然エネルギー「自給率」が0.8%と低く、東京都、大阪府に次いで45位となっています。全国平均は3.3%であり、自然エネルギー導入が遅れているという状況にあります。

## 大宜味村暴力団排除条例が10月1日に施行されました。

暴力団のいない安全・安心の大宜味村の実現に向けて、村、村民・事業者が丸となって暴力団排除活動を推進します。

村民、事業者は暴力団員による不当な行為に関する情報を得たときは村又は警察その他関係機関に提供する責務があります。

連絡先 総務課 44-3001



## 第19回 重要無形文化財 保持団体秀作展 日本の伝統美と技の世界

全国重要無形文化財保持団体協議会に所属する14団体の会員の作品が展示され、その高度な技と美の世界が公開されます。

**会期** 平成23年10月6日(木)～23日(日)

**会場** 沖縄県立博物館・美術館企画展示室

**主催** 全国重要無形文化財保持団体協議会

沖縄県立博物館・美術館

**共催** 全国重要無形文化財保持団体協議会

大宜味大会実行委員会

大宜味村、大宜味村教育委員会

### 内容

#### ① 展示

各保持団体からの作品各5点前後や製作工程に関する写真パネル。

#### ② 製作実演

伊勢型紙、石州半紙、喜如嘉の芭蕉布の製作工程の一部を実演公開

○実演予定団体：喜如嘉の芭蕉布保存会、石州半紙技術者会、伊勢型紙技術保存会

○会期：10月8日(土)～9日(日)、

10月16日(日)

10月22日(土)～10月23日(日)

#### ③ 出版物：作品図録

## 第5回世界のウチナーンチュ大会

## 大宜味村出身者歓迎交流会

第5回世界のウチナーンチュ大会が10月12日(水)から16日(日)までの5日間開催されます。村では村出身者(関係者)を招待し歓迎交流会を左記のとおり開催しますので、多くの村民の皆様にご参加頂き、世界のオオギミンチュを激励して下さい。ようご案内致します。

**日時** 平成23年10月15日(土)

午後6時～午後8時

**場所** 農村環境改善センター

**会費** 2000円(海外招待者無料)

## 法律・行政・人権

## 合同相談所の開設について

左記の日程で法律・行政・人権合同相談所を開設しますので、金銭・サラ金問題、財産・戸籍・位牌問題、また福祉・環境・交通安全や、国・県・村役場に対する苦情や要望、また人権に関することなどの相談を無料で受けますので、お気軽にご利用下さい。

**日時** 平成23年10月21日(金)

午後1時30分～午後4時30分

**場所** 大宜味村役場第2会議室(旧法務局)

### お問合せ先

大宜味村総務課 ☎44-3001

## 無料調停相談会のお知らせ



**日時** 平成23年10月15日(土)  
午前10時より午後4時まで  
**場所** 名護市中央公民館第3・4研修室  
いろいろなもめごとはまず調停で…  
お気軽にご相談ください。

土地、建物、交通事故、金銭の貸し借り、離婚、遺産分割、その他慰謝料の請求、親族間の争いやもめごとなどでお困りの方はいませんか。  
このような争いごとやもめごとの円満な解決を図るため、簡易、迅速、低廉な調停という制度がありますので、詳しいことは裁判所の無料調停員にお気軽にご相談ください。  
なお、今回の調停相談料は無料です。

**主催** 名護調停協会  
**後援** 裁判所

## 大保ダムまつり開催

### 期間

平成23年10月23日(日)

### 開催場所

大保ダム

### 内容

- ・ステージイベント(地元芸能、大道芸人 珠人ヒロトなど)
- ・体験コーナー(カヌー体験、マイ著作り体験など)
- ・ハーリー大会
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・防災フェア、など

問い合わせ先 大保ダムまつり実行委員会

☎0980-44-3007

# 9月1日は「防災の日」

## 防災は日頃の心がけから

9月1日の「防災の日」を中心とする8月30日から9月5日は「防災週間」。全国的に防災に関する行事や訓練が実施される中、村内でも塩屋保育所と喜如嘉保育所で9月2日、避難訓練が実施されました。両保育所では、月に1回、津波や火災などを想定した防災訓練を行っており、今回は「防災週間」に併せての取り組みとなりました。



### 塩屋保育所

塩屋保育所では、集中豪雨による土砂災害を想定した避難訓練を実施。同保育所周辺は県の土砂災害警戒区域にも指定されており、職員や所児たちは土砂崩れが起きた場合の避難方法や避難経路の再確認を行いました。

訓練は土砂崩れを発見したあと、保育士が子ども達を保育所内に集合させ人数などの確認後、同保育所の裏手からすべり台を



すべり台を使って避難する保育士と所児達

使って降り避難場所である沖縄電力塩屋連絡所の駐車場まで移動しました。

山川和美所長は「防災は、地域全体で取り組むもの。地域との連携を密にし、今後協力体制を整えていきたい」と話しました。

### 喜如嘉保育所

「火事だー」と叫ぶ職員の声と警報のベルが保育所内に響きわたり、喜如嘉保育所の防災訓練が始まりました。喜如嘉

保育所では、今年度の9月は山火事を想定した避難訓練の月。

午後3時に訓練が開始され、外で遊んでいた子や寝ていた子どもも火事を知



駐車場に移動する保育士と所児達

らせる声とベルに反応して近くの保育士のもとに集まりました。普段から火事を見たら「大人に伝える」「大人のいる所に集まる」「大人と一緒に逃げる」という3つの約束事を確認しており、この日も所児たちはそのことを実践しました。そのため訓練があることを伝えていなかったにも関わらず、避難場所である保育所の駐車場まで保育士の誘導のもとスムーズに移動しました。

与那嶺照子所長は「訓練で体に覚えさせることで、いざという時に慌てずに対応できる。子どもの命を預かっているのだから取り組んでいきたい」と話しました。

### 合同祝い

## 家族らが長寿を祝福 新百歳・風車・米寿

敬老の日を前にした9月11日、村津波の特別老人ホーム・やんばるの家で新百歳・風車・米寿を迎えた5名の合同祝賀会が開かれ、家族やスタッフを含む約180人が長寿の喜びを分かち合いました。

琉装に身を包んだ5人は、親族に付き添われ車いすでひな壇に上がり、島袋義久村長や東村の伊集盛久村長をはじめ親族や関係者から祝福を受けました。

新百歳の宮城マツさん（塩屋出身）と具志堅久子さん（有銘出身）には、島袋義久村長から内閣総理大臣からの銀杯と祝状が伝達され、県、村からも記念品と祝状が手渡されました。また、米寿・風車を迎えた3人にも村から祝状と記念品が贈られました。

祝者紹介であいさつした宮城マツさんの五女仲間頼子さんは「母は働き者で、教育熱心だった」とかつてを偲びながら紹介していました。

祝者の家族らによる踊りや伝統芸能などの余興もあり、最後は家族や関係者が舞台上がりカチャーシーで盛り上がりました。



内閣総理大臣からの祝い状を広げてみせる島袋義久村長

# 村の人口

8月末現在



男 1,738人 (+2)

女 1,646人 (-2)

計 3,384人 (±0)

世帯数 1,659世帯 (+2)

出生 1人 転入 11人

死亡 3人 転出 9人

※注( )内数は対前月比

## 日本一安全な村を目指して

9月21日、大宜味小学校体育館で大宜味村交通安全推進大会が開催され、交通安全作文コンクールの成績発表や各種団体の意見発表などが行われました(10ページに関連記事)。

名護警察署長賞

吉濱 爽(喜如嘉小3年)

名護地区交通安全協会賞

山川はるひ(大宜味小6年)

仲宗根 舞(津波小3年)

村交通安全推進協議会入賞

國吉 琴美

(喜如嘉小5年)

松田 鈴

(大宜味小1年)

宮城 太陽

(塩屋小2年)

宮城 七珠

(塩屋小6年)

花城 綾姫

(津波小5年)

宮城 純太

(大宜味中2年)



## 満1歳お誕生日おめでとう!! (タツカー祝い)

☆世界にたったひとつだけのスマイル! ☆

輝く未来の大宜味っ子!



明るく・元気で・素直に  
すくすく育つてね

宮城 虎之介 くん (塩屋)

## フクギの種と苗木を募集します

今後、結の浜では防風林・防潮林としてフクギの植栽を計画しています。そこで、村民の皆様からフクギの種と苗木を集め、植栽したいと考えております。大宜味村の中心地区を担う結の浜の整備に、ぜひ参加してみませんか。

### 募集期間

10月11日(火)~10月31日(月)まで

### 回収場所

大宜味村企画観光課

### 問い合わせ先

大宜味村企画観光課

☎0980-44-3007



# 10 October 11 November 大宜味村カレンダー

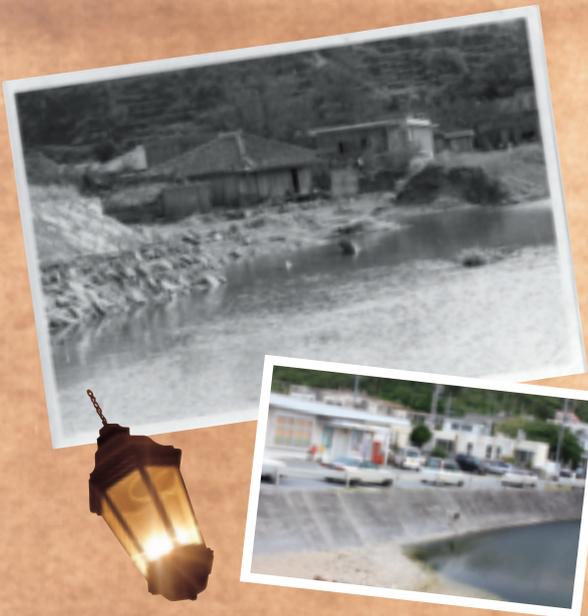
1 土	◆授業力向上強化期間・家庭学習強化月間 ◆地区中体連陸上競技大会 ◆運動会準備出校日(4小)
2 日	◆4小学校運動会
3 月	◆区長会 4小・中学校振替休日
4 火	
5 水	
6 木	◆全国重要無形文化財保持団体協議会 大宜味村大会・秀作点(~23日)
7 金	◆やんばるの家訪問(大宜味小)
8 土	◆ぶながや運動会(喜如嘉保育所)
9 日	◆幼稚園運動会
10 月	体育の日
11 火	
12 水	◆村校長・教頭合同研修会
13 木	◆第5回世界のウチナンチュ大会(~16日)
14 金	
15 土	◆ミニバスケット辺士名ブロック交歓会 ◆第5回世界のウチナンチュ大会 大宜味村出身者歓迎交流会
16 日	◆郡陸上競技大会 家庭の日
17 月	
18 火	◆村教委計画訪問(津波小) ◆校内児童・お話大会(塩屋小・大宜味小)
19 水	
20 木	◆村学校保健委員会講演会
21 金	◆法律・行政・人権合同相談(大宜味村役場第2会議室(旧法務局))

22 土	◆ヤマシシっ子運動会(塩屋保育所)
23 日	◆大保ダムまつり
24 月	
25 火	◆村内童話お話大会(塩屋小・大宜味小)
26 水	
27 木	
28 金	◆校内合唱コンクール(大宜味中)
29 土	
30 日	◆老人・婦人合同スポーツ大会
31 月	
11月 November	
1 火	◆区長会 ◆授業力向上強化期間 ◆修学旅行(津波小)~2日
2 水	
3 木	文化の日
4 金	◆地区中学校駅伝競走大会
5 土	◆沖縄県民体育大会(~6日・19日・20日・26日・27日)
6 日	◆わくわく塩屋っ子タイム
7 月	振替休日(塩屋小)
8 火	◆村校長研修会
9 水	◆村教頭研修会
10 木	

# あんしえったん むかしや

## 大兼久川

砂がよりあげられて広がった部落といわれる、ユアギマク大兼久。古い写真は1959年10月、52年前のもの。シャローット台風により大兼久川護岸が決壊した記録写真です。右上方の方にわずかに旧大宜味村役場、手前に向かって登記所、現在の道路の一部も川であつたように川幅は広くみえます。大兼久誌によると、昔、大兼久川が役場前から大兼久側に大きく曲線を描いて流れていたのを大正中期年間に、今の忠魂碑のある時点から川の線を直線に開いたようです。そして1935年（昭和10年）頃までは護岸決壊のあたりは湿地帯だったとの事。地形の変化もみえる一枚です。



## 村内あれこれ

### 津波チーム 北部地区老人グラウンドゴルフ大会で3位



第20回北部地区老人グラウンドゴルフ大会が9月7日、金武町営グラウンドで開催され、27団体の参加があった中、津波チームが団体3位に入りました。また、団体戦を通して好スコアの人が表彰される個人の部で、同チームから志良堂清邦さんが優勝を飾りました。同大会には、村内から津波チームと謝名城チームが出場し、津波チームは11月30日に行われる県大会に派遣されます。

### 大宜味村南米移住者子弟研修生受入



塩屋区出身の故宮城秀亀さん（1905年ペルーへ移住）のひ孫、瑞慶山・宇賀本・エドアルド・ウィルフレドさんが、平成23年度大宜味村南米移住者子弟研修生として、ペルーより9月12日に来沖し、11月26日までの間、海洋博記念公園（本部町）と県花卉園芸農業協同組合（名護市）にて、主に蘭や菊の育成の技術習得に向けて研修に励みます。

### 辺土名高校放送部 交通安全を呼びかけたCDを制作



辺土名高校放送部が秋の全国交通安全運動に合わせて、交通安全を呼びかける「交通安全街頭広報テープ」を制作し、その贈呈式が9月21日、大宜味小学校体育館で行われました。CDは、名護警察署の依頼を受けて制作され、この日、同署の渡真利健良署長に手渡されました。

制作されたCDには、秋の全国交通安全運動の期間に使用される「やんばる秋バージョン」と「通年バージョン」の2種類があり、名護所管内で交通事故防止に役立てられます。

同部の玉城佑太郎部長は「自分たちの地域から交通安全を呼びかけて、県全体にも広げていきたい」と抱負を語りました。

### 地域の魅力を再発見 やんばる三村たまで箱講座



大宜味・国頭・東のやんばる三村の魅力を再発見する「やんばる三村たまで箱講座」が9月10日、大保ダム周辺で開催され、三村から約30名が参加しました。参加者は、大保ダム学習資料館（ぶながや館）で水とダムの関係などの映像を見たあと、ダム下流入り口付近に設置されたマングース北上防止柵を見学し、説明を受けました。普段は開放されていない大保ダム下流での自然観察会では、大人も子どもも夢中になって植物や生き物を探していました。同講座は、10月10日には東村で、11月20日には国頭村で開催されます。